

生命科学・医学系研究実施に関する

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肝臓におけるフコシル化 AFP の有用性の検証		
1. 研究の目的と方法	肝臓発症リスクの高い慢性肝疾患患者や健常人ボランティアの血清を用いて、株式会社 免疫生物研究所で独自に開発された感度高くAFP-L3値測定ができるELISAキットを用いて測定し、従来法で測定されたAFP-L3値および肝臓腫瘍マーカー（AFP/PIVAKA-II）と比較することで肝臓診断能や発症・進展・再発、治療効果判定、臨床経過予測の評価に有用であるかを検証します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院に2017年10月1日より2026年4月30日まで通院し、「先行研究(受付番号：29-135(8751)、課題名:肝疾患における血中 Protein kinase C (PKC) delta と病態との関連性)」に参加した、肝臓を合併もしくは合併していない慢性肝疾患（ウイルス性、アルコール性、代謝機能障害関連性脂肪肝疾患、自己免疫性、うっ血性など）の方、健常人ボランティアの方、が対象です。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	血液	
	(2) 試料の取得の方法	「先行研究(受付番号：29-135(8751)、課題名:肝疾患における血中 Protein kinase C (PKC) delta と病態との関連性)」で同意を得て取得した保存血清を用います。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、併用薬、妊娠の有無、家族歴、アルコール摂取歴、喫煙歴、検査結果（血液体液検査、画像検査、病理所見）、合併症、治療内容や臨床経過	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。また、先行研究で収集した情報を利用いたします。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科講座
		氏名	及川恒一
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報の 管理責任者	消化器・肝臓内科 及川 恒一	
	(4) 共同で研究	株式会社免疫生物研究所	

	を実施する 機関とその 責任者	宮下かずや
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究で収集・取得された情報は、あなたのお名前やカルテ番号などの個人情報 を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された共同研究 者のもとに、以下の方法で集められ詳しく解析されます。 提供方法：試料：郵送、情報：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2026 年 7 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 研究事務局代表者：准教授 及川 恒一（おいかわ つねかず） 窓口担当者：准教授 及川 恒一（おいかわ つねかず） 電話番号：03-3433-1111(3201) 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。